

2016年6月17日  
JR東日本秋田支社

## 五能線全線開通80周年を記念して駅設備をリニューアルします！ ～駅めぐりしてみませんか～

2016年7月、五能線は全線開通80周年を迎えます。沿線の魅力を大事にし、訪れた人がまた来たくなる駅を目指し、五能線内リゾートしらかみ停車駅を中心に駅設備を整備いたします。魅力あふれる五能線沿線の駅めぐりをしてみませんか！

### 【五所川原駅】

1996年に80年ぶりに復活を遂げた立佞武多が練り歩く五所川原市の玄関口として、駅舎の外壁をリニューアルします。また、昨年度の立佞武多の製作者福士裕朗様による創作看板を新設いたします。（2016年6月30日に完成予定）



高さ最大23mの立佞武多の迫力と祭りの熱気を大看板（横10m×縦3m）で感じていただけます。



外壁は古レンガの風合いのあるアンティーク調に統一し、懐かしい温もりがある駅舎に変わります。

### 【陸奥森田駅】

リゾート施設「つがる地球村」の最寄駅として有名な陸奥森田駅は、駅舎美化を目的としたリニューアル工事を行います。駅舎の美化はホーム側をメインとしリゾートしらかみにご乗車されているお客さまに外観を楽しんでいただきます。また、男女兼用のトイレを男女別にし、水洗化いたします。（2016年6月30日に完成予定）

### 既存駅舎



1925年竣工の駅舎

### 改良後イメージ

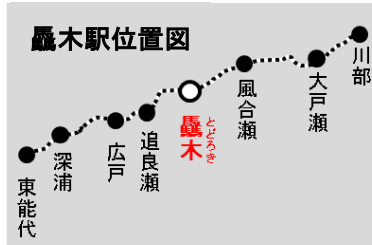


つがる市有形文化財である旧増田家住宅母屋をイメージした古民家風の外観

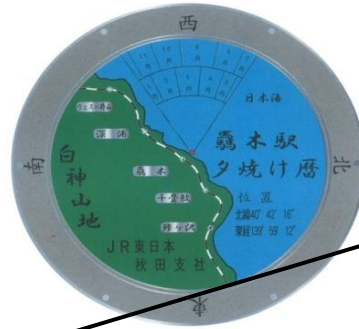
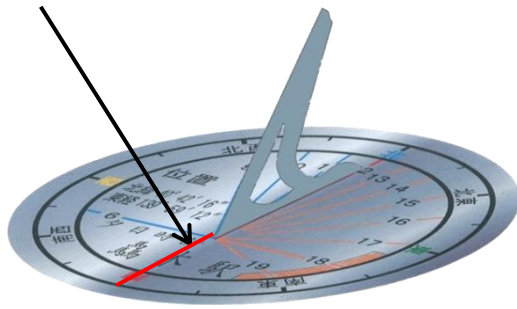
### 【轟木駅】

秘境駅として全国的に知名度が高い轟木駅は、2008年に当社発足20周年記念として設置した夕日時計と夕焼け暦をリニューアルします。リニューアルする夕日時計にはノモン（指時計）を設置し円柱型のアクリルケースで覆い、土台はコンクリート製の擬木とし劣化を防止します。ホームからの夕日とともに、刻々と変わるノモンがつくり出す影を楽しんでいただけます。

(2016年6月22日に完成予定)



【夕日時計（指時計）】ノモン（指時計）が落とす影で現在の時刻を表しています



【夕焼け暦】月ごとに異なる夕日の沈む方向を表しています

### 【深浦駅】

深浦町夕陽海岸に隣接する駅であり、五能線交通の要であることから観光のお客さまが多く訪れます。合併浄化槽を新設することで水洗化が実現し、また、トイレを増設することでお客さまの利便性が向上します。(2016年6月30日に完成予定)



#### <改良内容>

- ◇ 簡易水洗式から水洗式に変更
- ◇ 女子トイレを2室増設
- ◇ 女子パウダーコーナーの新設
- ◇ 多機能トイレの新設

【五能線リゾートしらかみ停車駅観光案内板】

五能線リゾートしらかみ停車駅に観光要素をちりばめた多言語表記観光案内板を設置します。  
 東能代駅、能代駅、あきた白神駅、岩館駅、十二湖駅、ウエスパ椿山駅、深浦駅、千畳敷駅、  
 鱒ヶ沢駅、陸奥森田駅、木造駅、五所川原駅、陸奥鶴田駅、板柳駅、川部駅（15駅）

(2016年6月30日に完成予定)



リゾートしらかみ新型車両「櫛」の車両デザイン

各駅の観光要素を生かしたイラスト

現在地が一目でわかる五能線沿線の鳥瞰図

【多言語表記】日本語、英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）により海外からの旅行者の観光案内に対応



東能代

<デザインコンセプト>

それぞれのエリアの象徴的な観光要素をちりばめた、五能線の走行風景をイメージ。

川部駅～東能代駅間を進むにつれ、昼から夜へと徐々に時間が経過していくようなストーリーのある風景としました。

また、各駅のイラストは一つにつながる仕組みとなっており、旅の思い出となる写真撮影の背景として絵になります。

五能線 観光案内板一覧 (別紙)

